

セ ボ ス

タガヤ
ランティア
ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2021.1 No.201

今月のトピック

特集●

「この夏、チャットもはじめたよ。」
～せたがやチャイルドライン、22年目の新たな取り組み～

まちの市民力! ● テヅクリ畑の会

キラリ世田谷人 ● 矢島佐世さんを偲ぶ



イラストレーション● 高根 洋子
高齢のため、毎日かかさず運動して体を鍛えながら、近所で食事作りのボランティアをしています。趣味として、長年、水墨画を描いてます。

●わたしの世田谷

長いこと世田谷に住んでいて、私の第二の故郷です。とても住みやすく、安心して住める街です。今は、ボランティアの食事作りが生きがいです。

「この夏、チャットもはじめたよ。」

～せたがやチャイルドライン、22年目の新たな取り組み～

せたがやチャイルドラインは、1998年
から電話で子どもの声を聴き続けてき
ました。そして、この夏、電話と並行し
てオンラインチャット事業を開始しまし
た。コロナ禍にありながらも新たな挑戦
に踏み出したせたがやチャイルドライン。
22年の活動で大切にしてきたものをふり
返ってみました。



約束を守るおとなであること

チャイルドラインは、18歳までの
子どものための専用電話です。
子どもたちに対して、「秘密は守
る」「名前は言わなくていい」「ど
んなことも一緒に考える」「途中
で電話を切ってもいい」との4つ
の約束を掲げています。かけたこ
とも話した内容も秘密で、匿名性
が守られた中で安心して話せる電
話であること、どんなことでも話
していい場で、助言や指導ではな
く一緒に考えるおとながいるこ
と、子どもの気持ちや状況次第で
電話を切っていいことを保障して
います。

普段の生活の中で、おとなはつ
い、子どもを「教え導くべき対象」
にしてしまいがちです。「あなた
のため、将来のため」と思っ
る言動によって、子ども自身が「い
ま感じている気持ち」や「本当に
言いたかったこと」を蔑ろにされ、
「自分で考えて決める主体である

こと」を奪われている状況がしば
しばあります。

そうした状況を変えていきたい
との思いで生まれたチャイルドラ
インは、おとなも子どもも対等で
あること、子どもが主体となつて
話せることを大切に考えていま
す。それらを大切にするため、4
つの約束を守るおとなであること
が私たちの活動の前提です。

世田谷で産声を上げ、

全国に広がった

そんなチャイルドラインは、こ
世田谷で、日本での産声を上げ
ました。1997年、元世田谷ボ
ランティア協会理事長の牟田悌三
さんから中心メンバーがチャイルド
ライン発祥の地のイギリスに学び
に行き、10か月の準備を経て、1
998年に24時間2週間の「せた
がやチャイルドライン」を試行的
に開設しました。翌年も24時間2
週間で実施し、2000年から世

チャット
「おはよう！」

Char-la[®] セタがやチャイルドライン広報紙
2020年9月発行

チャット
「おはよう！」

18才までの子どものための専用電話

セタがやチャイルドラインは、
この夏、チャットもはじめたよ。

夏休み、どうだったかな？
今年は、長い休校期間があって、分散登校があって、短い夏休みで……。
いろいろ我慢して過ごしたことも、多かったんじゃないかな。

「だれかと話したいな」と思ったとき、ぜひ、チャイルドラインに電話してみよう。

「つらいことも悲しいことも、気になることも嬉しいことも、何を話してもいい電話です。」

でも……。 「だれかと話したいな」と思っても、電話で話づらいときもあるよね。

そんなときのためにと思って、セタがやチャイルドラインでは、去年から準備を重ねて、ついにこの夏、チャットを始めることになりました。

電話でも、チャットでも、安心して話ができるほうを選んでみてください。

セタがやチャイルドラインから、子どもたちへの約束

- ・ ヒミツはまもる
- ・ 名まえは言わなくていい
- ・ いろんなことも、いっしょに考える
- ・ でんわやチャットを途中で切ってもいいんだよ

みんな、どんなことを話してるの？

どんなことを話してもいい電話・チャットだよ。でも、やっぱり少し、気になるかもしれないね。

実際にかけてくれた電話の内容を、秘密を守るために書き選んで、ご紹介しています。

「あした、明日、学校休んじやダメかな」
「きまずくなつた友達を、今日「おはよう」って書いてくれた！」
「ぼくのことで、親がけんかしてる」
「きまずい、唇口言われて、涙が出そうだった」

チャイルドラインのことを、もう少し詳しく

「子どもの声をそのまま受けとめる」ことを大切にするチャイルドラインは、ここ何年かで、1998年に24時間2週間の試行というかたちで、日本での産声をあげました。「子どもたちをとりまき」をテーマに、という地域のおとなたちの熱い思いから踏み出したこの第一歩。22年の時を経ても、全国で70のチャイルドライン団体で子どもたちの声を電話で受けとめています。チャットを行う団体も少しずつ増え、現在18団体となりました。セタがやチャイルドラインでは、これまで毎年、年間延べ2,000人の子どもが電話で聴きつづけてきました。

おとなの方へ

セタがやチャイルドラインでは、毎年「受け手（電話を受けるボランティア）養成研修」の入口となる「公開講座」を開催しています。2020年度は新型コロナウイルスの影響から、オンラインでの公開講座を9月～翌1月に（全8回）予定しています。子どもと直接関わってきた講師による講義やワークは、子育てに役立つこともあるかもしれません。「子どもの声をそのまま受け止める」ことがどんなに難しく、深いことを実感いただけると思います。「受け手」にならなくても、興味のある団体のご参加もできます。下記問合せ先へご連絡ください。

セタがやチャイルドライン広報紙「Char-la」 2020年9月発行
発行：（株）世田谷ボランティア協会 セタがやチャイルドライン運営委員会
問合せ先（事務局） 電話 03-5712-5101 メールアドレス chidline@otagayama.or.jp
ホームページ https://www.otagayama.or.jp/about/chidline

※セタがやチャイルドラインのチャットは「匿名子ども支援プログラム」の協力を得て開始することができました。

田谷ボランティア協会自主事業として常設実施にこぎつけました。

世田谷での開設以来、各地でチャイルドラインを設立しようという動きが高まりました。各地の交流と普及を図るため、1999年、「チャイルドライン支援センター」が発足。現在、全国に約70

団体があり、年末年始を除く毎日16時から21時、全国共通フリーダイヤルで電話を受けています。

セタがやチャイルドラインでは、地域の子どものたちの声を地域で受け止めたいと考え、セタがや独自の電話番号も維持したうえで、全国共通フリーダイヤルに参

加しています。こうして毎年、年間延べ2,000人の子どものたちの声を聴き続けてきました。

子どもの力を信じて、声を聴く

試行開設の当初は「電話相談」や「相談員」と表現していました

夏休み明けに世田谷区内の子どもたちに届けました。

が、「子どもが主体であり、おとなが主体となつて解決する電話ではない」という考えから、相談という言葉を使わず、電話を受ける人を「受け手」と呼んでいます。受け手は専門家である必要はありません。数か月にわたる「受け手養成講座」を通して、子どもの声をそのまま受け止める難しさや面白さ、奥深さを実感していきます。

受け手が電話を取ると、開口一番、「名前、言わなくていいですか?」という子どもも、「たいしたことじゃないけど、いいですか?」と言う子どももいます。しばらく違う話をしてからやっと、本当に話したかったことを話出す子どももいます。普段からたくさん気を遣つて生きている子どもたちが安心して話せるために、受け手のすることは、子どもの力を信じて、声を聴くことです。子どもは話しているうちに、いまの自分なりの答えを見つけて、あるいは折り合いをつけて、自ら電話を

切り、自分の場所に戻っていきます。そんな瞬間を共にできるとき、受け手も幸せな気持ちになります。

でも、例えば、呂律の回らない声でリストカットしたと話す電話がブツツと切れてしまったとき、受け手は無力感や不安を感じることもあります。そうした気持ちを一人でそのまま持ち帰らないために、受け手同士や、受け手を支える「支え手」が存在します。電話を受け続けるためには、受け手自身も支えを必要とするのです。

この夏、チャットを開設

近年、固定電話の減少や格安スマホの広がりから、電話という手段を持たない子どもや、電話をかけて話すことに抵抗を感じる子どもが増えている状況があります。そうした子どもの声も受け止めたといと、チャイルドライン支援セン

ターでは2019年度からオンラインチャット事業を本格実施しました。現在18団体が、電話と並行してチャットも開設しています。せたがやチャイルドラインでも昨年から検討会を立ち上げ、文字によるコミュニケーションを学ぶ養成研修を実施したり、セキユリテイ対策基準等を整備したり、トライアル実施を行いながら準備を進めてきました。そしてこの夏、チャットを開設しました。電話でもチャットでも、安心して話ができるほうを選んでほしいとの願いを込めて、現在、月2回の活動を積み重ねているところです。

チャットは文字だけのやりとりのため、込められたニュアンスが分かり難かったり、一つのやりとりに時間がかったりするという特徴があります。電話でなら相づちで伝わったようなことも、丁寧に言葉に置き換えていく必要があります。そうした電話との違いを踏まえて試行錯誤中ですが、電話

と同様に、子どもの力を信じて、子どもが主体となって話すことの大切さを実感しています。

いろんなかたちで、

たくさんさんのボランティアに
支えられている

せたがやチャイルドラインは、受け手、支え手だけでなく、年間の運営を考える運営委員、広報活動としてのチラシやカードなどの



大好評の手作りマスク。
世田谷ボランティアセンターの他、
世田谷美術館、世田谷文学館でも販売されています。

制作・配布、活動資金確保のための手作り品の制作、バザー品の提供、販売、寄付といった様々なかたちで、たくさんさんのボランティアに支えられています。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響が様々にあつた年でした。これまで週5回の電話開設でしたが、4月に10日間の休線を行った後、週1回の時間短縮で再開。現在、電話は週2回プラスα、チャットは月2回の活動となっています。例年5月から開始する「受け手養成講座」も、9月からウェーブ会議ツールZoomを利用しての開催となっています。

感染症の影響は今後もどうなるかは分かりません。けれど、4月に公共空間や社会的機能が圧倒的なかたちで閉鎖した状況を経験したのち、できる対策と工夫をして再開し、継続してきました。活動できる人、いまは活動しないでいる人、受け手養成講座を受け始める人、手作り品にマスクを取り入

れた作り手…、たくさんさんの一人ひとりが形づくっている、せたがやチャイルドラインです。開設から22年、多くの人との出会いや別れを経験してきました。その喜びも痛みも胸に置きながら、いまできることを考え、ゆつくりじっくり進んでいきたいと思っています。

講演会のお知らせ

「子どものいのちを守るには」
虐待事件取材して」

児童虐待や家族の問題について多くの取材をしてこられたルポライター・杉山春さんの講演会を開催します。詳細は11ページをご覧ください。

（寄稿／せたがやチャイルドライン
広報担当）

畑と農家を大切に!

テヅクリ畑の会



まちの 市民力!!

取材・市川徹

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します

多見農業公園の運営を担当するNPO法人せたがや喜多見農とみどりの活動にも参加します。そのときできた仲間たちとともにテヅクリはたけの会の活動を2019年2月頃にスタートしています。

テヅクリはたけの会は、主に喜多見で地元野菜を楽しむ企画や農家のお手伝い(援農や販売支援)をしているグループです。今回は代表の田島文一さんにお話を伺いました。

田島さんは喜多見生まれの喜多見育ち。子どもの頃の喜多見は農家も多く、ご自身も近所の森や小川で遊ぶなど自然豊かな土地だったと言います。しかし小学生の頃から開発により農地や自然が徐々に減り始め、サラリーマンとして生活しながら危機感を感じてきました。そこで定年後に地元の畑に関わりたいたいと思い立ち、2016年夏から農業学校に通う一方、喜

現在は、農家さんの好意で使わせていただいている畑の活動や援農のほか、地元野菜などを販売する朝市「てづくり市場」の開催(毎月第3日曜日)、農に関する映画上映会、地元野菜を楽しむお料理会、農産物の商品化を模索して紫蘇ジュースやジャムづくり、農の見学ツアーなどを行っています。会員制度などは特に設けておらず、活動ごとに関心あるメンバーが集まる形態で、運営活動の参加は10~15名ほどだそうです。

田島さんは、活動を通じて農家と住民の接点づくりをしたいと言

います。農家さんに相続を乗り越えて農地を残したいと思ってもらいたい、農家のみなさんに地域に関わるのが楽しいと思ってもらえるような社会にしたいそうです。そのためにも、周りの人たちが農を大切に思っていることを発信していくことが必要だと考えて活動されています。

しかし、実際にできることには限界があると田島さんは言います。「畑があるって大切だね」と思えるムーブメントをつくるためにも、いろいろな人に農の継続を考える活動に関わってほしいそうです。田島さん自身もこんなに苦労するなら活動をやめようと思うことがあるそうです。それでも毎回楽しく喜んで一緒に活動する仲間があるのが励みだとか。農業経験の有無は関係ありませんので、みなさんもぜひ参加してみたいかがでしうか。きっと楽しいことがあるはず。



いつまでも一緒に
矢島 佐世さんを偲ぶ
やじま さよ

や せ た 人 キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●星野 弥生

キラリ世田谷人にいつかは取り上げようと密かに思っていた矢島佐世さん、実現する間もなく、去る10月4日に旅立ってしまわれました。矢島さんは、世田谷で育ち、ずっと世田谷に住み、地域のさまざまな活動に関わっていました。「一緒にやらない？」と誘うと、「面白そう！」と喜んで加わり、いやな顔ひとつせずどんな役をもこなしてくれました。とりわけ入れ込んでいたのが子どもに関わる活動。「地域の人みんなで子育てしよう！」をモットーに、幼児のために作られた「のざわテットーひろば」では、ボランティア、そして理事の役もつとめ、まるで自分の

孫のように小さい子どもたちと遊び、お母さんたちの相談相手になっていました。「矢島さんの存在は乳幼児の親子たちにどれだけ沢山の安心を与えてきたでしょう」と、一人のおかあさんは嘆き悲しんでいました。

雑居まつりでは、「神戸をわすれない・せたがや」のお店で、神戸からのおまんじゅうを売り、コーヒーを淹れ、「ボロ市」では、チャイルドラインのリサイクルのお店で、着物を選び、手入れをし、お客にアドバイスをしながら販売していました。矢島さん自身、すてきに着物を着こなし、その姿が凛としていた、と多くの人たちが懐かしみます。

2011年3月11日の震災のあと、世田谷でさまざまな市民グループが、福島の子どもたちに世

田谷で外遊びを楽しんでもらおうとネットワークを組んだ「福島の子どもたちとともに・世田谷の会」にも矢島さんは運営委員として参加。春の砧公園でのお花見では、お寿司やサンドイッチを手作りする仲間でもありました。何年も続いていた「優れたドキュメンタリー映画を観る会」による下高井戸シネマでの春の「ドキュメンタリー映画祭」の場にも、区内の福祉施設の手作り品の販売コーナーに、いつも彼女の姿がありました。

世田谷ボランティア協会の評議員、そして「ボランティア協会をささえる会」の世話人としても、地域でのボランティア活動を進める重要な役割を果たしてくれた矢島さんでした。いつもそこにいた貴女がいなのは本当に寂しい。尽きせぬ感謝とともに、まだまだ私たちを見守っていてくださいいね、と願うばかりです。本当にありがとう！

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できる

のかかわらないという方は、お電話でご相談ください。
電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。
●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生・高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアさんをお探しして紹介しています。

現在、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインでの学習支援にも取り組んでいます。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・青木
TEL 5712・5101
takai@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

京 家事サポートしてくださる方募集

芦花高校近くにお住まいの60代女性が、病気の後遺症で半身不自由なため家事をサポートしてくださる方を探しています。お一人暮らしを気持ちよく維持するため、暮らしの中のちょっとした手助けを必要としています。曜日・時間・時間帯相談（たとえば月・金曜日午前中1時間くらい、週1回でもOK、短時間でもOK）詳細はお問い合わせ下さい。

●日時／曜日・時間応相談
●場所／ご自宅
●条件／女性希望 有償（区の制度を利用）
●問合せ／玷ボランティアビューロー 準備室
TEL 6411・4007
kinutabori@otagaisama.or.jp

東 犬の散歩ボランティア募集（深沢近辺）

深沢に住む女性が、犬の散歩をしてくれる方を探しています。女性性はケガをしてしまい、毎日3〜4回行っていたお散歩ができなくなっていました。犬は大型（ラブラドル、6歳）ですが、おとなしくお利口な女の子です。家族がお散歩に行かない平日を中心に、30分ほど散歩をしていただけの方、お待ちしています。複数名でのサポートを検討しています。

●日時／基本的に平日。曜日・時間帯などは相談
●場所／自宅（深沢）近辺
●交通／等々力駅徒歩10分程度
●条件／大型犬のため、犬に慣れた方が望ましいです。交通費支給（要相談）
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tanabori@otagaisama.or.jp

東

インドネシア出身の姉弟と 遊んでくれるボランティア募集

玉川地域に住むインドネシア出身のご家族が、3歳(女の子)と2歳(男の子)のお子さんと遊んでくれるボランティアを探しています。お母さんが出産直後でなかなか動けないため、公園や家で一緒に遊んでくれるとうれしいです。お子さんたちは日本語で話します。お姉ちゃんはお絵かきが大好き、弟はちよっと人見知りですが、明るく元気いっぱいの二人です。

- 日時/平日の昼間、曜日、時間等は応相談
- 場所/自宅(上野毛)や近くの公園など
- 条件/子ども好きな人(子育て経験のある方、保育の勉強をしている方など)
- 問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tanaborae@otagaisama.or.jp

東

登校付き添いスタッフ募集

4月から小学校5年生になる男の子の登校に付き添ってくださる方を探しています。男の子は、朝起きて気持ちを整えてから、学校へ行ける日は少し遅い時間から登校します。今はお母さんが付き添っていますが、お母さんは4月から資格取得の勉強を始めるため、付き添いができません。本格的に付き添いをお願いしたいのは4月からですが、その前にも、お互いに慣れるために、少しずつでも付き添いを開始していただけたらいいかなと思っています。子どもも好

きで、ゆったりと接して下さる方にお願ひしたいです。詳細はお問合せください。

- 日時/月々金 おおむね9時〜10時に自宅を出発(週1回)可
- 場所/自宅から小学校まで(徒歩5分)
- 交通/用賀駅徒歩5分
- 条件/交通費1回500円
- 問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tanaborae@otagaisama.or.jp

小

おもちゃを拭いてくださる方を探しています

梅丘にお住まいの重度障害のあるお子さんの使ったおもちゃを拭いてくださる方を探しています。おもちゃが好きで、よく舐めてしまい、唾液に埃がついたりしておもちゃが汚れてしまいます。ほつておくとカビが生えたりして、それをなめると病気になるってしまふ可能性があるため、毎日拭く必要があります。

おもちゃを水拭きして、消毒液を吹きかける難しい作業です。

- 日時/平日の時間。曜日、時間応相談
- 場所/梅丘1丁目のご自宅
- 募集人数/数名
- 条件/女性
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

有償スタッフ募集

障害者の移動支援 従事者募集

知的障害者の移動支援を担う人が少なく、サービスを受けられないケースが増えています。東京都が実施する知的障害者の移動支援研修や初任者研修以上を持つていれば従事できます。本事業所は世田谷区内に居住している障害者の移動支援を行っている非営利団体です。詳細はお問合せください。

- 日時/随時
- 場所/屋外の散歩、施設間の移動など
- 交通/利用者宅への直行直帰が原則
- 条件/知的障害者移動支援研修または初任者研修終了、交通費は全額支給
- 問合せ/特定非営利活動法人ソーシャルケア清和会 NPO かわ 担当 辻本
TEL 5712・5185
npowakaba@kaigo-wakaba.jp
http://www.kaigo-wakaba.jp/

有償スタッフ募集

東 ひとり親家庭のサポートをしてくださる方募集！

世田谷区内のひとり親家庭にお
伺いし、子ども（保育園・小学生）

の遊び相手、宿題等の見守り、夕
食づくりなどをしてくださる方を
探しています。親御さんが多忙や
不調で余裕がなかったり、お子さ
ん自身がサポートを必要としてい
るご家庭で、お父さん・親御さん
ともに安心して楽しめてくださるよ
う、力を貸していただけたら幸い
です。学生さんからシニアの方ま
で大歓迎です！

活動日時や内容など、詳細はお
電話かホームページからメールで

お願いいたします。

●日時／月々金曜日、17時～21時
（2～3時間程度。ご家庭ごと
異なります。週1日程度）

●場所／世田谷区内のご家庭

●交通／小田急線・京王線・田園
都市線・東横線など

●条件／有償、交通費支給、研修
あり

●問合せ／NPO法人日本子ども
ソーシャルワーク協会

TEL 5727・2133

担当 水野

<http://www.jcsw.jp/>

講座・その他・募集

東 NPO・市民活動相談

世田谷ボランティア協会では、
ボランティアグループ・任意団体
の立ち上げや運営に関する相談
や、NPO法人の設立も含めたN
PO・市民活動に関する基礎的な
個別相談にも応じています。

グループの運営に悩んでいる、
助成金情報を知りたい、NPOつ
て何？ など、いろいろなご相談

を受けています。すでに活動して
いる方も、これから何か始めたい
方も、個人・団体問わず相談可能
です。まずはお電話でお問合せく
ださい。（相談無料、事前予約制）

●問合せ／世田谷ボランティアセ
ンター 担当 大垣内

TEL 5712・5101

小 代田ビューロー近所カフェ
「百人一首を楽しみましょう」

以前、新年会でおこなった百人
一首が好評で、「是非またやって
ください」というリクエストに
おこたえし、百人一首企画の再登
場です。坊主めくりも楽しめます。
初めてのことも大歓迎。見学参加
も大丈夫です。お気軽にお立ち寄
りください。

●日時／1月16日（土）13時から
16時（時間内の出入り自由）

●場所／代田ボランティアビュ
ロー 2階（階段のみ）

●交通／世田谷代田駅すぐ

●参加費／100円

●定員／6名

●条件／マスク着用、事前申込制
申込み／電話またはメールで。
メールの場合件名「百人一首」、
氏名、住所、電話番号を明記
してください。

●問合せ／代田ボランティアビ
ューロー

TEL 3419・4545

databora@otagaisama.or.jp

●定員／①70名②15名

●対象／子どもの問題に関心のあ
る方、子育て中の方、学生

●参加費／1000円

●交通／三軒茶屋駅徒歩5分

●申込／電話、またはメールで。
メールは件名に「特別講演会申
込」、本文に氏名、電話番号を
明記してご送信ください。

●問合せ／せたがやチャイルドラ
イン事務局 担当 樽井・青木

TEL 5712・5101

childline@otagaisama.or.jp

●開催方法／①WEB会議ツール
「zoom」を使用して実施

②世田谷ボランティアセンター
会議室（zoom画面を映写）

●問合せ／せたがやチャイルドラ
イン事務局 担当 樽井・青木

TEL 5712・5101

childline@otagaisama.or.jp

●開催方法／①WEB会議ツール
「zoom」を使用して実施

②世田谷ボランティアセンター
会議室（zoom画面を映写）

東 災害ボランティアコーディネーター研修会

災害ボランティアコーディネーターにご登録している方を対象に、2019年に発生した台風19号の水害時のボランティアによる復旧支援活動やその後の取り組みなどを通じて、コーディネーターとしての基本的な役割や姿勢を学ぶ研修会とし、コーディネーターとしての意識を高め、その育成を図る研修会です。

また、コーディネーター登録されていない方でも参加できます。事前に配信されている講座をご視聴いただくことより理解が深まります。詳細はホームページをご覧ください。

●日時／1月23日（土）14時から16時

●開催方法／①会場②オンライン配信

●場所／玉川区民会館ホール（等々力3・4・1）

●交通／等々力駅徒歩1分

●参加費／無料

●定員／①150名②制限なし

●申込み／「せたがや災害ボランティアセンター」のホームページよりお申込みください。

●問合せ／世田谷ボランティア協会 担当 柳・高橋・久我

TEL 5712・5101
saigai@otagaisama.or.jp
https://otagaisama.or.jp/saigai/

東 バザー提供品受け取り一時休止のご案内

いつもバザー品のご提供にご協力いただき、ありがとうございます。現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、バザーを休止しております。そのため、バザーの物品提供の受付（持ち込み及び宅急便などの郵送）を当面の間、休止とさせていただきます。ご理解

解ご協力のほど、よろしく申し上げます。

※今回のバザーの開催は未定です。再開が決まり次第お知らせいたします。

●問合せ／世田谷ボランティア協会

TEL 5712・5101

せたがや福祉区民学会第12回大会 「未来につなぐせたがや福祉のきずな」

せたがや福祉区民学会は世田谷区の福祉向上を目指し、年1回、世田谷区内の大学を会場に、大学、事業者、区民、行政が一堂に会し、発表を通じて実践活動・研究を深め合うものです。

第12回大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためウェブ開催とし、発表の要旨・動画と発表事例集を世田谷区福祉人材育成・研修センターホームページ上で公開します。

今大会では「学びあい、広げようせたがや福祉の輪『未来につなぐ せたがや福祉のきずな』」をテーマに国際医療福祉大学大学院教授の熊田由紀子氏の基調講演

のほか、世田谷区の福祉実践活動について「新しい生活様式における取組み」や「多様性を認め合う共生社会づくり」など7テーマ48本の発表を公開します。詳細はホームページをご覧ください。

●公開期間／1月15日（金）～2月15日（月）

●公開場所／世田谷区福祉人材育成・研修センターせたがや福祉区民学会ホームページ

●問合せ／世田谷区福祉人材育成・研修センター 担当 村本

TEL 6379・4280
t.muraki@setagaya.jp
https://www.setagaya-jinza.jp/

ボランティア保険 新年度料金改定のお知らせ

2021年度のボランティア保険について一部改定となりますので、お知らせいたします。次年度（4月以降適用分）の加入手続きの際はご注意ください。

●変更内容／
①Aプラン（基本コース）の保険料の引き上げ

【現行】300円
【変更後】350円

②基本コースAプラン以外の補償金額変更
※詳細はお問合せください。
※新型コロナウイルスの補償については、2021年も引き続き補償可能となります。

●問合せ／世田谷ボランティア協会

TEL 5712・5101

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター&ビューローより

年が明けて2021年、梅丘ビューローでは1/23(土)失語症カフェ、代田ビューローでは1/16(土)ご近所カフェ、玉川ビューローでは1/16(土)遊ぶ会を予定しています。ぜひお立ち寄りください。

◆ふらっと& withより

昨年を一人もかけることなく終えられた「ふらっと」です。隣人と席が離れていても、手づくりの昼食を笑顔で楽しんでいます。今年も「ひとりではない」ことに安堵しながら過ごしたいです。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

2/6(土)にルポライターの杉山春さんの講演会を開催します。この機会にぜひご参加ください♪

詳しくは特集ページをご覧ください。

編集後記

■あけましておめでとうございます！今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

■私は地元のお寺を必ず訪れますが、今年は家から手を合わせ、「健康第一」を祈願します。あとの願ひ事は内緒です(笑)

■今年は、新型コロナウイルス感染症の収束を願ひ、当協会のイベントを開催し、多くの方々と交流したいと思っています。ご近所さんからも、期待と応援のメッセージを多く頂いています。感謝しています。(こ)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

